

<目次> 令和元年度 主要事業等実施の状況及び事務事業評価結果

【後期高齢者医療特別会計】

No.	款	項	目	事務事業名	所管部署名	総合判定	ページ
1	1	1	1	後期高齢者医療一般管理事務	医療助成係	継続	1
2	1	2	1	後期高齢者医療徴収事務	医療助成係	継続	1
3	2	1	1	後期高齢者医療広域連合納付金	医療助成係	継続	1
4	3	1	1	後期高齢者医療保険料還付金	医療助成係	継続	1
5	3	1	2	後期高齢者医療還付加算金	医療助成係	継続	1
6	3	1	3	高齢者医療制度円滑運営事業費補助金返還金	医療助成係	継続	1

第 4 表 主要事務事業実施の状況及び事務事業評価結果

No.	事務事業名	決算額 (千円)	財源内訳 (千円)			事業内容及び成果
			国道 支出金	その他	一般 財源	
1	後期高齢者医療一般管理事務	79			79	市町村連絡調整会議への参加のほか、後期高齢者医療被保険者証等の封入封かん業務に必要な経費の支出を行った。
2	後期高齢者医療徴収事務	736		26	710	市町村事務である保険料を徴収するため、納付書の作成・送付等徴収事務を行った。
3	後期高齢者医療広域連合納付金	270,014		179,325	90,689	徴収した保険料、低所得者等に対する保険料軽減額及び事務費負担金を広域連合に納付した。
4	後期高齢者医療保険料還付金	47		47		平成30年度分 7件 46,600円
5	後期高齢者医療還付加算金	0				保険料の還付金に、還付加算金が発生した場合に付加する。
6	高齢者医療制度円滑運営事業費補助金返還金	7			7	平成30年度高齢者医療制度円滑運営事業費補助金の確定に伴う返還金を支出した。
合計		270,883		179,398	91,485	

事務事業評価							
1. 必要性	2. 成果	3. 要望	4. 行革の取組			今後の方向性	総合判定
			事務事業の休止・廃止など	コスト削減など	他事業との統合や民間委託		
高い	変わらない	無	無	無	無	今後も最小限の経費で管理事務を行っていく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	保険料を徴収するため、納付書の作成・送付等、今後も徴収事務を適切に実施していく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	保険者である北海道後期高齢者医療広域連合と緊密に連携し、今後も適正な事務処理を行っていく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	今後も過年度還付が発生した場合、遅滞なく返還していく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	今年度は加算金が発生しなかったが、今後も状況に応じて適切に対応していく。	継続
高い	変わらない	無	無	無	無	今後も状況に応じて適切に対応していく。	継続

1. 必要性（市が行わなければならない理由など） 高い・普通・低い
2. 成果（市民福祉の向上は図られたのかなど） 向上した・変わらない・低下した
3. 要望（市民・団体・議会からの要望など） 有・無
4. 行財政改革の取組
(1)事務事業の休止・廃止など 有・無
(2)コスト削減など 有・無
(3)他の事業との統合や民間委託等 有・無
※総合判定（休止・廃止・終了・拡充・縮小・継続・改善）